

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかり鳴が見教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 2月 20日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しない工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに意向確認し活動に反映する事でモチベーションをもって参加して頂いている。 ・子どもの好きな事を把握している職員が多い。 ・季節の活動や工作、調理レク、公園活動、室内ゲーム、感覚遊びを複数組み合わせ提供している。 ・長期に出来る特別な活動(遠足、買い物訓練、外食訓練)を入れ普段と差別化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の要望を反映出来るよう、話し合う機会を設け気持ちを伝えると、叶う経験を増やしていく。 ・興味、関心、楽しい活動を通し人間関係、社会性、コミュニケーション、体の使い方を学ぶ機会を提供していく。 ・サービスの質の向上を継続していく。
2	職員間の連携が取れる	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが取れており、風通しが良い。 ・いざという時は、状況を個々で判断し臨機応変に行動できる。 ・報連相を大事にしており、何かあれば対応するための検討をや振り返り、次にどうするか話し合いが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の足並みを揃える事で、子ども達の安心や安全を確保に繋げていく。 ・コミュニケーションを沢山とり、子どもの理解を深める。子どもの満足度を高めていく。 ・共通の目的に向かい切磋琢磨していく。
3	子どもの出来る事を増やしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し粘り良く支援に当たっている。 ・子ども達が出来た時には、沢山賞賛し次に繋がる支援に努めている。 ・職員も一緒に行い、協力して達成感を味わってもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんが理解できるツールを増やしていく。 ・1人1人に合ったものを検討し準備していく。 ・反復学習を大切に支援する。 ・職員の質が向上する事で、支援の手立てを増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務に追われてしまう。 ・研修に参加したい意欲を持った職員が、参加出来ない状況にあった。 ・子どもの為にしたい事はあるが、出来ない状況に職員のモチベーションが下がってしまう。 ・職員によって業務の偏りが出てきてしまい、抱えてしまう職員もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しをかける。 ・研修参加の体制や事業所の体力をあげていく。 ・外部研修だけでなく、事業所内での身近な研修をおこなひ、職員の質の向上を目指す。 ・人材育成を行い、業務の分散、軽減に努める。
2	発信力の低さ	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や児童クラブとの交流、他事業所との交流が伝え切れていない。 ・助言をした際に、助言として受け止めて頂きにくい現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に合わせた伝え方を意識する。 ・職員が研修に参加し、知識やスキルを高め、具体的な手立てを提案して行く。 ・ひかり通信を有効活用していく。
3	保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士での交流の機会を提供出来ていない。 ・兄弟児が参加出来る活動が提供出来ていない。 ・ペアレントトレーニングを行える知識や技術を持ち合わせている職員が不在。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流機会の提供。 ・外部で行われているペアレントトレーニング情報の提供を行っていく。 ・家族間や兄弟間での相談がある場合は、真摯に対応し知りうる範囲での助言や社会資源の提案を行っていく。